

行會議按總付
第一條

明治十三年度地方稅之内地價割則郡
役場ヨリ御達之課額当村及入作各
地主ヨリ徵收スル金額

金貳百六拾圓七拾五匁五分

此地價八萬五千七百七十三圓四十五匁

但此地價而國府金三拾圓四匁割當縣廳ニ收納

期法ハ該年度四回ニ分チ毎會四分一徵收ス方之如シ

第一期

七月一日ヨリ
至八月三十一日

第二期

九月一日ヨリ
至十月三十一日

第三期 十二月一日

第四期 十二月一日

至三月三十一日

第二條

全地方税之内戸數割別郡役所より納付之金額

一 金五拾五圓四錢五分

此戸數百四十名戸 但明治十三年上半年戸數

總計付按ハ各戸ノ等級及賦課之利率ヲ議定

スルヲ要旨トス然レニ寡婦孤兒廢疾ニシテ他ノ救助

スルヲ親族トシテハ格別之審議ニ付スルヲ要ス

第三條

河溝堤防道路橋梁用水路井堰溜池修繕

費ハ縣會議決按甲第三号第三号ハ分通地方税ヲ

以テ支弁シ残余ニ分通一可凌キ金額豫算

一 金廿九圓八毫

該修繕ニ係ル費用アル時ハ四價ノ三ノ百四若四

支弁ス

第四條

公立小學校校費豫算

一 金七十三圓七十五文七分

内 四十八圓

教員給料等々年分

拾六圓

小使給 右面割

0171



九園千石ノ算 夜内諸費計

計如高

内 拾四園七十五石 生徒受業料

拾八園 資本金元利
内 拾八園 資本金元利
明治十二年及貸主ノ利子
及七石代何ニ付四石ノ

廿八園 民費賦課

残金拾三園を銭金 民費賦課

但該校共者部借付ノ戸數七十八口三分十分十毎
戸一石三斗五升三分十賦課ス以戸數百四十石ノ戸ノ

負六百八十八

但戸數等振附ノ戸數割率概照準ス

第百條

不社寺修繕費及祭典又他一ノ取立ノ支年ス一キ
經費額豫算

一 金拾四園六十石余

内拾四園 本同條ノ給料

四園半石 協行給料

雜費ノ額

外ニ而本會議可割及ヒテ不割也ノ費者之
但該ノ戸數七十八口三分十分十所右口割

賦課



第六條

戸長役の經費籌算之後、其、實費に至る
に、自ら増減之を、是、其、事、業、に、係、り、不、能、執、中、平、年、の、郡、區
改正戸長役の開設創始之事業に係り、以て
諸、事、の、増、額、ノ、成、果、ヲ、得、ス、ト、モ、其、年、之
費、額、照、舊、ス、ル、難、シ、依、テ、平、年、一、月、三、日、迄、同、お
算、議、費、額、改正後、六月三十日、卒、後、の、輕、費
ヲ、合、算、シ、更、テ、信、シ、テ、明、治、十、三、年、度、費、額、ヲ、算
定、ス、ル、數、額、四、十、八、百、指、多、ク、内、三、十、五、百、郡、役
可、同、該、年、四、回、ニ、地、方、稅、之、内、ヲ、以、テ、支、出、之、額

ヲ、除、シ、殘、余、の、輕、費、額、ヲ、算、
一、金、指、六、百、指、多、ク、也

但、該、輕、費、之、後、ハ、又、經、合、部、長、各、お、申、上、
入、作、共、地、價、ノ、七、分、通、シ、輕、費、額、ノ、部、長、戶、數、三、分
通、シ、割、當、リ、以、テ、賦、課、ス、以、地、價、總、計、指
七、萬、四、千、三、百、三、十、四、兩、六、分、四、厘、八、毫、五、絲、戶
數、三、百、九、十、五、戶

第七條

輕、費、額、ノ、算、定、之、後、ハ、該、年、度、二、回、定、ム、
額、額、二、分、之、一、宛、テ、徵、收、ス、ル、如、シ



第八條

該年八月 翌年三月

布中共有物貨附及に保存方法ニ事

百今般通常村會議之名簿ヲ

以テ議定人ヲ致度因テ前件登記

シテ以度及用申候也

明治十三年八月十三日

一 元山善四郎
二 永長伊 郎
三 山入備左門

0174

安楽川村文書 I 文書番号 018



早野葛次	津田雄三郎	林伊右衛門	田中 <small>頼</small> 十郎	若田市兵衛	赤崎弥之助	元山嘉兵卫	柳水重次郎	田中慎一郎	乾通輔
------	-------	-------	------------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-----

上 甲

村令議長河ノ末ニ公選ノ者ノ後
 付テハ同ノ人ニ於テハ同ノ事ニ對シテ
 以テ同申出也

多月

村令議長

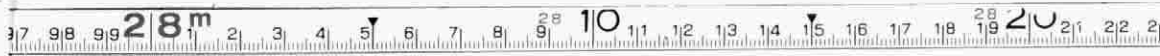
河ノ末

河ノ末

河ノ末

河ノ末

河ノ末



Handwritten text on a lined page, oriented vertically. The text is written in cursive Japanese characters (kuzushiji). The page is part of a bound volume, with a metal fastener visible on the right edge. The text is arranged in several lines, with some characters appearing to be part of a list or a series of entries. The handwriting is dense and characteristic of the Edo or Meiji periods.

0176

安楽川村文書 I 文書番号 018

